



平成27年6月30日（火）江東区立東砂小学校にて
「乱用薬物には絶対手を出さない！」の
「薬物乱用防止に関するたいけん学習」および
「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」の
「くすり教室：実験講座」を開催

特定非営利活動法人医薬品適正使用推進機構（NPO J-DO）は、国民に「くすり」を安全に安心して使っていただくために薬剤師や国民に対する教育講演や学会を開催しています。その活動の一つとして、小学生にも「くすり」のことを知ってもらおう授業や体験実験を行っています。

江東区立東砂小学校の PTA 会長である松原英男様のご尽力により、平成27年6月30日（火）、江東区立東砂小学校にて「乱用薬物には絶対手を出さない！」「薬物乱用防止に関するたいけん学習」を5年生に、「くすりの正しい飲み方：くすりと安全に安心して付き合う」「くすり教室：実験講座」を4年生に下記の内容にて、大学間連携共同教育推進事業（統括大学：千葉大学薬学部）の一環として開催しました。開催前日は千葉大学薬学部にて、NPO J-DO の鍋島俊隆理事長、野田幸裕副理事長と名城大学薬学部大学院生（1名）が、千葉大学薬学部（11名）、千葉科学大学薬学部（1名）の学生に対して講義内容や実験手順の説明と実演を行いました。当日は、小学生27名（5年生）は薬物乱用防止に関するたいけん学習、小学生28名（4年生）はくすり教室：実験講座に参加しました。講義と体験実験は大変分かり易かったと好評でした。

制作：名城大学薬学部病態解析学 I
（肥田裕丈、野田幸裕）
監修：名城大学薬学部
NPO J-DO（鍋島俊隆）



江東区立東砂小学校における

「薬物乱用防止に関するたいけん学習」

日時：平成27年6月30日（火）10時45分～12時20分

場所：江東区立東砂小学校 理科室

内容

- ・「乱用薬物には絶対手を出さない！」：講義

どのような薬がドラッグとして乱用されているか、薬物乱用はどのように怖いのか、乱用されているくすりの正しい情報、薬物乱用者の実態、薬物乱用に対してみんなができることについて、千葉大学薬学部の学生がスライドを使ってわかりやすく説明しました。児童参加型の双方向型のお話では、多くの小学生が元気よく挙手して活発に問い掛けに答えてくれました。大変にぎやかに、お話を通して薬物乱用の恐ろしさについてしっかりと理解することが出来ました。

- ・「体験実験」

小学生は7グループ（1グループ3～4名）に分かれ、お話の内容をより理解できるように、鍋島俊隆理事長、野田幸裕副理事、名城大学薬学部大学院生、千葉大学薬学部、千葉科学大学薬学部、城西国際大学薬学部の教員や学生が補助しながら、体験実験を行いました。

<実験項目>

1. タバコによって肺はどうなってしまうのだろう？（ビデオ）
2. タバコによって成長はどうなってしまうのだろう？（写真）
3. お酒によって脳の細胞はどうなってしまうのだろう？
4. お酒によって肝臓はどうなってしまうのだろう？
5. お酒に強い体質かな？
6. シンナーによって体はどうなってしまうのだろう？

江東区立東砂小学校における「くすり教室」

日時：平成27年6月30日（火）13時45分～15時20分

場所：江東区立東砂小学校 理科室

内容

- ・「実験を始める前のお話し」：Q&A方式

くすりをどのように飲んだら良く効き、副作用を防ぐことができるか、Q&A方式で小学生が答える、児童参加型で行いました。千葉大学薬学部の学生がスライドを使ってわかりやすく説明し、多くの小学生が元気よく挙手して活発に問い掛けに答えてくれました。

- ・「体験実験」

小学生は7グループ（1グループ4名）に分かれ、お話の内容をより理解できるように、鍋島俊隆理事長、野田幸裕副理事、名城大学薬学部大学院生、千葉大学薬学部、千葉科学大学薬学部、城西国際大学薬学部の教員や学生が補助しながら、体験実験を行いました。

<実験項目>

1. どうして「カプセル」になっているのだろう？
2. コップ1ばいの水かぬるま湯でくすりを飲むのはなぜ？
3. 水がなくても飲める錠剤があるのを知ってる？
4. 「ざやく」って何度で溶けるんだろう？
5. 胃でとけずに、腸でとけるくすりがあるのを知ってる？
6. くすりを「お茶」で飲むとどうなってしまうの？
7. 「うがいぐすり」でうがいをした後に、すっぱい食品を食べるとどうなってしまうの？

